

■現状-1-(2)

■越前塗(福井県鯖江市)

挽物はトチノキ、ミツメ、ケヤキ等の木を縦方向に立木挽きします。塗りは花塗(はなぬり)という、刷毛の跡やほこりが付かないように仕上げの漆を塗り、そのまま乾燥させる技法が特徴です。堅牢な下地作りに塗り重ねた艶と、優雅な作りには定評があります。

■紀州塗(和歌山県海南市)

日常生活で気軽に使える漆器が主体で、全体的にシンプルでがっちりとした印象があります。黒江塗、根来(ねごろ)塗は代表的な塗りの一つです。

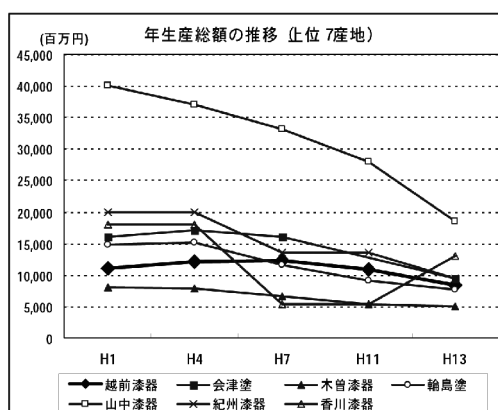
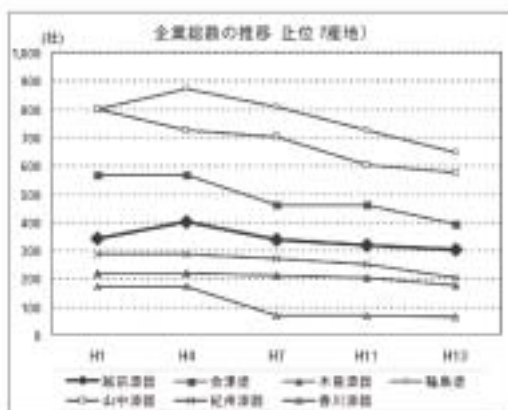
■香川漆器(香川県高松市)

代表的な技法である、「蒟醬」、「後藤塗」、「存清」、「彫漆」、「象谷塗(ぞうこくぬり)」は、いずれも使っていると歳月とともに「渋」と「味」が美しさを増し、香川漆器独特の色調がでできます。香川県内はもとより、全国各地からも年々注文が多くなり注目されています。

■木曾漆器(長野県松本市)

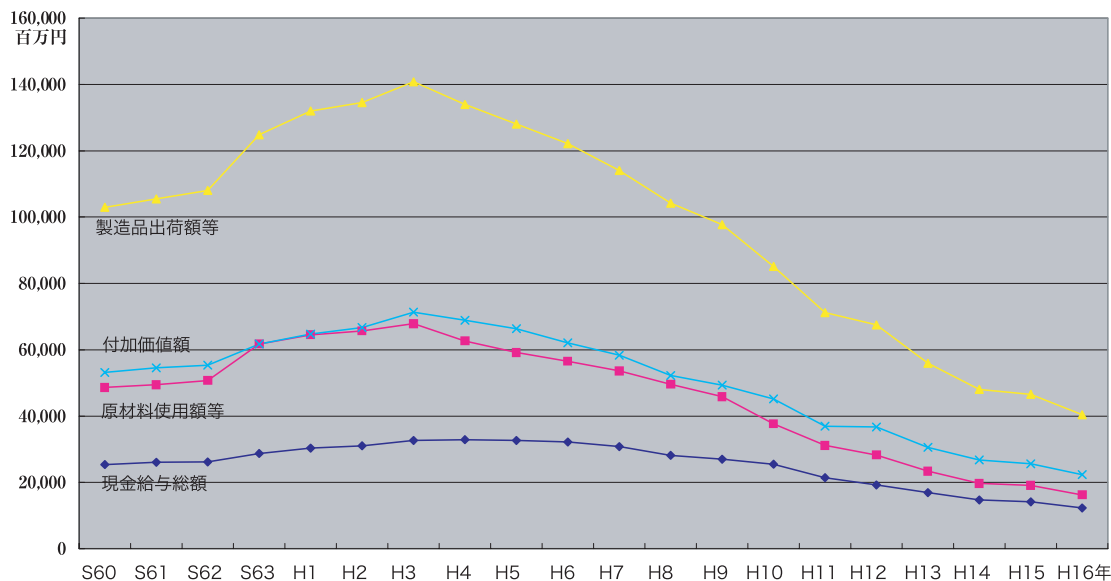
木肌の美しさを生かす「春慶塗(しゅんけいぬり)」、幾層もの漆によりまだら模様を表わす「堆朱(ついしゅ)」、彩漆(いろうるし)で幾何学模様を作り出す「塗り分け呂色塗(ぬりわけろいろぬり)」に特色があります。

昔はそれぞれの地域を生かした生産方法で色々特徴がありましたが、最近は少しずつ特徴が失われているうえ、いずれの漆器産地も低迷状態に陥っています。



(資料：全国伝統的工芸品総覧((財)伝統的工芸品産業振興協会)

全国漆器製造業者生産額等



(資料：全国工業統計 経済産業省)